

第5回（仮称）青森県DX推進プラン策定委員会議事録（サマリー）

日時 令和6年3月14日（木）

16:00～17:30

場所 青森県庁西棟8階中会議室

1 開会

- 出席者10名（欠席2名）

2 議事

以下の議題について、事務局から資料に基づき説明した。

（1）青森県DX推進プランについて

- 各委員からの主な意見は以下のとおり。
 - （プランの成果指標について）事務局と議論を重ね、プラン実行による変化や優先すべきものを明らかにするために大きな成果指標を設定し、4つの成果指標を変動させていくのは容易ではないため、中間指標でプランの進行状況と進捗度を明らかにしていく形にした。
 - 県庁内・外でリアルタイムで指標の進捗を共有することが重要である。このプランの哲学である、試行錯誤し果敢に挑戦する姿勢を反映するものであり、このプランにふさわしいアジャイルな取組となる。
 - リアルタイムで公表できるものはデジタル化して、可視化ができれば効果的である。
 - 民間企業では経営状況を戦略的に公開している。インパクトがある情報や青森県のイメージアップにつながる情報を戦略的に公開してはどうか。

（2）令和6年度DX関連事業ロードマップ（案）について

- 各委員からの主な意見は以下のとおり。
 - KPIが目的化されないよう注意が必要で、目的と手段を間違えてはならない。目的は豊かさや安心感を得ることで、その手段がDXである。ロードマップの様式に「どう変わるか」という欄があるのが良い。
 - 数値での定量的な目標設定が難しい場合は、定性的な状態目標を設定する試みが良い。状態目標とは具体的な態度変容やマインドの変化を示すもので、この目標から逆算することで定量的な目標に落とし込むことが可能。

（3）「（仮称）青森県DX推進DXプラン」策定委員会の改組について 質疑なし

（4）令和6年度に実施予定の普及啓発について

- 各委員からの主な意見は以下のとおり。
 - DXの現場を視察する機会があると、県民や学生が理解を深めることができる。地元の活動を知ることが、学生の青森に残りたい気持ちを高めるとの意見を聞いた。そのような場を設けることを検討してほしい。
 - 行政が民間企業の事業を委託する際に、プロジェクトの全体的な流れをコーディネートすることが重要であり、外部アドバイザーと一緒に取り組むことも良いと思う。

3 閉会